

特別史跡大宰府跡整備基本計画・基本設計

令和8年3月

太 宰 府 市

ごあいさつ

本書は令和6年度に策定いたしました「特別史跡大宰府跡整備基本計画」と、これに基づき令和7年度に策定した「特別史跡大宰府跡整備基本設計」を、併せて刊行したものです。

本計画・設計で取扱っております特別史跡大宰府跡は、古代において国内最大の地方官衙として築かれた役所の跡であり、現在の九州一円を管轄したほか、対外防衛の拠点、海外との交流の拠点として発展した面影を今に伝えています。これを顕彰し保護する活動は、歴史文化を郷土の誇りとする本市の風土を培ってまいりました。

特に大宰府跡の中核である大宰府政庁跡は、市民の憩いの場として親しまれてきましたが、近年では国内外から多くの方に来訪いただき、本市の誇る歴史を体感していただいているところでございます。一方で、福岡県が行った整備から50年が経過し、再整備と最新の調査成果を踏まえた整備の必要が生じております。

本市では特別史跡大宰府跡の整備事業を、「歴史と緑豊かなまちづくり」の中核事業に位置づけており、市民の皆様のご理解とご協力のもと、大宰府跡がこれまで以上に多くの方に親しまれる場所となるよう目指してまいります。

結びに、策定に関わっていただいた太宰府市史跡整備検討委員会委員の皆さまをはじめ、観世音寺区、坂本区の皆さま、市議会の皆さま、パブリックコメントにて貴重なご意見をいただいた市民の皆さまなど、ご協力ご指導を賜りました全ての皆さまに深謝申し上げます。



令和8年3月

太宰府市長 高原 清